

- 目 的
- ・市民公益活動団体のための活動紹介と活動資金づくりの場とする。
 - ・より多くの市民に市民公益活動への関心を深めてもらう機会を提供し、市民活動を始めるきっかけ作りの場とする。
 - ・市民活動サポートセンター利用団体をはじめとする参加団体が協働によりフェアを作り上げ、より活発に交流できる場とする。
 - ・社会貢献活動を行う企業の取り組みを紹介し、市民公益活動団体と企業など地域協働のきっかけづくりの場を提供する。
 - ・被災地の復興支援を継続的に行う場とする。

開催日時 2025 年 2 月 8 日（土）～ 9 日（日）の 2 日間 10：00～15：00

場 所 横須賀市立市民活動サポートセンター及び YouTube（のたろんチャンネル）

主 催 のたろんフェア 2025 実行委員会、横須賀市立市民活動サポートセンター

- 運営体制
- 1) 実行委員会を構成し、企画運営を行う。
実行委員の役割として…実行委員長、副実行委員長、記録、広報、装飾など
 - 2) 事務局 市民活動サポートセンター 担当：早坂、茂澤

- 参 加 者
- 1) 参加団体数 95 団体
 - 2) 2 日間（8 日・9 日）の一般来場者数 2,215 人（昨年 2 日間で 2,140 人）
 - 3) PR イベント集客数 約 200 人
 - 4) YouTube「のたろんチャンネル」 4 団体 551 視聴（2 月 14 日時点）
 - 5) 実行委員 12 人、協力 1 人、運営ボランティア 延べ 17 人

- 内 容
- 1) フリーマーケット、地域作業所販売、模擬店
（館内 8 日 10 団体・9 日 6 団体、館外 2 日間参加 7 団体）
館内のフリーマーケットは 1 日目と 2 日目の参加団体数に違いがあり、2 日目はさみしい感じがしたとの意見があった。コロナ禍後、昨年 4 年ぶり再開できた飲食販売を今年も行うことができた。飲食があると活気があると感じるとの意見があった。
売上総額 738,277 円 純利益 380,110 円

- 2) 活動紹介展示
（活動紹介展示 8 日 15 団体・9 日 19 団体、救護所/展示 2 日間 3 団体、ミニ展示 41 団体）
活動紹介展示について、今年はパネルの利用を背面に壁や柱のあるところのみとし、館内の景観を見通しよくした。パネルを希望する団体が多かったので抽選となったが、落選しパネル無しとなった団体も工夫を凝らした展示でワークショップや、団体の活動を紹介した。
売上総額 117,390 円 純利益 103,780 円

- 3) ミニ展示コンクール
展示の中でもミニ展示は 1 月 10 日～ポスターの提出を受付け、預かり次第、汐入駅側窓に掲出。2 月 28 日掲出する。フェア当日の 2 月 8 日と 9 日はスタンプラリーの景品交換所にてミニ展示ポスターのお気に入りを伝えてもらい、投票数によって金賞～銅賞を決定。参加団体報告会にて団体に報告。

- 4) 映像による活動紹介や体験ができるコーナー（2日間で16団体+1団体）
団体の活動を映像での紹介や有事の際に役立つ体験などの紹介、演奏発表会など様々なプログラムがあった。実行委員会プログラムの「復興応援団」企画も行い、+oneとしてサポートセンターの触図マップ紹介も行った。
いつもは印刷機などが置いてあるワーキングコーナー部分をステージとした。
- 5) 「のたろんチャンネル」 ※事前収録した動画をYouTubeにて配信（4団体）
動画を団体から預かり事務局が投稿、YouTubeで配信。
- 6) 募金活動（2日間計8団体）
いくつかのルールを決め募金活動を行った。
- 7) 署名活動（3団体）
いくつかのルールを決め署名活動を行った。
- 8) PRイベント 2月1日（土）リドレ横須賀（4団体）
ダンスなど参加団体のパフォーマンスで「のたろんフェア」のPRを行った。
- 9) 会場スタンプラリー
会場内で各出店団体の考えたクイズに答え、シールを集め、ゴールで景品と交換する。
シールは活動紹介ブースで2枚、館外ブースで2枚、館内フリマで1枚、産業交流プラザで1枚の4色計6枚のシールをプログラムの表紙の該当欄に貼る。
3F 産業交流プラザでの「パンマルシェ」と展示コーナーにも集客できるようにしたが、事前の周知不足により、3Fがわかりにくいとの声があった。
- 10) 会場装飾
入口に風船の門を作り、25周年をPRした。
「のたろん」の絵を津久井小学校や学童保育の児童に依頼し描いてもらったものをドブ板通り側ガラス面に掲出し会場に彩を添えてもらった。
市民表彰受賞団体には団体名のところにそれとわかるように紙製のメダルを貼った。会場参加の無いミニ展示のみの団体にはミニ展示ポスターにそれを貼った。
- 11) 市民活動のための不用品募集（希望団体7団体）
サポートセンターでの受付分を希望団体に分配した。広報よこすかやポスター、サポートセンター館内の不用品見本などを見て、たくさんの寄付があった。
- 12) SDGs企画「割りばしリサイクル」
割りばしを回収し、「割り箸の回収プログラム」を行っている企業（王子製紙）に送ると紙の一部にリサイクルされる企画。木の割り箸のみで竹串や竹箸はNGのため、楽しみながら分別ができるよう専用ボックスはクイズ形式で作成し工夫した。
飲食販売の団体にも協力をお願いし、木の箸を使用してもらえるように周知した。
休憩コーナーにゴミ箱を設置したが、当日になって急遽決定、設置した外の休憩コーナーのゴミ箱に割り箸回収ボックスを置かなかったため、箸がゴミと混ざってしまった。

- 13) 企業の社会貢献活動の紹介（3 企業 井出新聞店、損保ジャパン、ソフトバンク）
ミニ展示により、活動内容を周知した。
- 14) のたろん復興応援団
実行委員企画として復興支援と平時より準備について考える取り組みを行った。
①市内避難世帯招待：被災地から市内に避難してきている家族へ「のたろんフェア」のご案内と招待状の発送。館内で使えるクーポン券の進呈。
※1 世帯 2 名来場。クーポン券 10 枚・喫茶券を使用
②講演会：映像による活動紹介で「考えよう～にげる、そなえる、ささえあう」の講演を行った。ハザードマップなども紹介し主に横須賀の災害について考えた。
③パネル展示@産業交流プラザ
- 15) 市民活動団体交流会 約 40 名が参加予定。

広報

- 1) ポスター・チラシの作成・配布
のたろんフェア 2025 ポスターデザインを一般公募した。
2 作品の応募があり、優秀賞と優良賞を実行委員会で決定し、優秀賞を今年のポスターに採用した。
デザインについては作者の許可を得て、看板や館内での案内などにも使用した。
ポスターについては多くの方より賛辞をいただいた。
そのポスターは市内各公共施設、学校、銀行、市内掲示板等に掲示した。
また、フェア当日の 2 日間で産業交流プラザに優秀賞及び優良賞の 2 作品を展示した。
- 2) プレイベント
2 月 1 日（土）11:00～13:30 場所 リドレ横須賀
参加団体 4 団体
協力 リドレ横須賀
アーティストドットコム（音源及び会場設営）
一般社団法人つばさ（ステージ録画）
- 3) P R 展示
1 月 25 日（土）～2 月 7 日（金） 場所 市民活動サポートセンター
1 月 27 日（月）～1 月 31 日（金） 場所 横須賀市役所
- 4) 広報記事掲載・放送
広報よこすか、情報誌のたろん、のたろん通信、神奈川新聞、タウンニュース、まなびかんニュース、FM ブルー湘南、Yahoo! ニュース
- 5) P R 番組放送 FM ブルー湘南にて生放送
1 月 25 日（土） 4 団体
1 月 29 日（水） 2 団体

【感想・意見】 ○良かったところ △改善すべきところ ◆提案

○飲食ブースがあると、楽しくなりますね。多くの団体との交流が生まれ、市内での連携が取れることに期待したい。

△（土）に参加団体が多かったとのこと。私たち参加の日曜日は閑散とした感じでした。

△クイズがあり団体への周知へとつながられた。が、紙の貼る場所が壁は NG とのことイマイチだったと思う。

○今年はお客さんも多く活気があり売り上げも多かった。市民の寄付に感謝しております。

△来客者にエコバック持参の声かけをしてほしい。

○不用品を頂いたので売り上げや人の立ち寄り（コミュニケーション）が増えて良かった。

○日曜日の方の手伝いで参加しましたが多くの来場者が色々なブースを楽しんでいて市民のふれあいの場としてはとても良いと思います。スタンプラリーは全ての場所に行くように企画されていて来場者が分散されるので平等感があります。パーテーションで区切られていないので会場内がスッキリしていました。

△館外販売で申込時はなにをすとか、書く欄がなく何を使うかだけで心配になり窓口に行って聞いたら他の団体とホットプレートとか販売品が重なっているとのこと。そういう場合 外飲食は家で作ってきたものに火をとおすだけはだめだと思うのですが。その場で作るものだけは大丈夫では。

○昨年のフェアから工夫が見られ当団体のブースも活動しやすい所にセットしていただいた。次回は映像による活動紹介コーナーにも参加してみたい

◆ブースごとに統一したプラカードがあると団体名がわかりやすいと思った。

○天気がよくて2日間とも無事に行うことができました。パン祭りの影響もあってか、土曜日の方がたくさんのお客さんが来てくれました。

△サポートセンターで集めていただいた物品の提供を受けましたが、当方の想定を大幅に上回る量でした。また種類も当方では取り扱いに迷うようなもの（大きめの壺や梱包用品、蓋のない箱に入ったカップ&ソーサーなど）がありました。これらの物品を終了後は在庫として引き取るには負担となるものだったため、次回からは提供を受けずに自力で品揃えをしようと考えています。（持ち込んだ量より、持ち帰る量の方が多くなってしまったのは完全に想定外でした）

◆募集の際にタイトルを「不要品募集」ではなく「フリマで再活用できる品募集」のようなポジティブな表現（「廃品回収」ではなく「資源回収」のような読み替え）をすると集まる物品の質が変わるかもしれません。本文では触れられていますが、アイキャッチが「不要品」なので...

△館外の休憩場所が少なかった（もう1テントおよびテーブル）

△展示紹介のテーブルの前に入館者に説明のために出てしまっている所もあった（各ブースの人数一考）

○館内も広く、人の流れがスムーズ、売りやすかった。

△スタンプラリーの黄色が2つだけなので、私達の場所まで来なかった。→もっと増やしてほしい。
来た、お客様は、10人だけでした。

○今回は、前回よりも入場者数がおおかったように思う。会場の様子も明るくてよかったです

△それぞれのスペースを守ってほしい。→侵略された。

△3Fに案内したが、出店がわかりづらく暗いし品物が少なくて不評だった。

○来場者と参加者の方々と交流が深まり楽しかったです。

○去年はまだコロナの余韻があったようでリーフレットの余りぎみでしたが、今回は用意した分が早々になくなり追加を作って対応しました。想定よりも盛り上がって良かったと思います。

○前日より人の流れがなかったですが、思っていたより売れた。

△◆ステージイベントに関してはサポセン⇔PAさんではなく、リハ時間や打ち合わせ時間を明確にするか、団体も含めて打ち合わせしたいです。又、ステージのイベントもっとやりたいです。

△音が小さくて十分に観客にアピールできなかったのもので、次回はマイクを1面につき1個お借りできればと思います（可能ならマイク4個）

○「映像による～コーナー」の立地と設営が目を見はりました。よかった。/ フワモコの出来ばえも印象に残り、よかった。

△問題のシールの色が赤とピンクでごっちゃになっている方が複数人いらっしゃいました。

△今年は全体を回遊する人数が少ない感じがしました。出入口の影響でしょうか。全体を巡れる方法がいくつか有ればよいなと感じました。

△コロナ以前の様に参加団体が増えると良いと思いました。

○寒い日で、入り口近いところであったが、外気の冷気がこたえるほどでもなく、かえって入場者の方と（入場のいらっしゃいませの）顔あわせができてよかった。今年の企画として「パネルあり、なし」のブース組み合わせがおこなわれても、圧迫感なくてよかったのではないかな。

△◆寄付品に、箱に入っていない食器で使用品があり、持ち帰り時に困るので、箱入りの食器のみに限定してもよいかなと思いました。

△ミニ展示コンクール、暗い寒いなどでゆっくり見てもらえない。館内でゆっくり見られるようにしてほしい。力作が多いので。3Fのスタンプ配布所が不明瞭（2日目）迷う人多数。

◆リーフレット（投票N0）のミニ展示のポスターをA5くらいに変更してガラス面に貼り付け当日ホワイトボードに貼り換えスタンプラリー景品所の近くに置くのはどうでしょうか？

◆ポスターは掲示するもの、ちらしは配るものとしてポスターよりも中身がわかる内容のちらしを1月頃から活用しても良いのかなと思いました。

△◆2日目のフリマが少ないという意見が多かった。両日出店可能な団体は申し込みが少ない時には2日間フリマをしてもらうことが出来たら良いのかもしれないと思いました。

◆ブースのテーブルの間隔を通りやすいようにとる（50cmくらい）

△ブースの参加団体もう少し増えるとよいですね。

【ひやとしたこと、ハッとしたこと】

- ・ブース間の間隔が狭くとなりのブースの荷物に体があたって荷物をくずしてしまっていた。
- ・活動展示ゾーンの説明する方が多く、通行の妨げになった
- ・むき出しの食品を館内で出前販売していた。衛生上問題だと思う。
- ・着ぐるみの方、危なそうなシーンがありました
- ・朝の開店前に、入場者が多く、困るので、入れない方法を考えたら… 入口にはり紙 必要
- ・出入口の風船がたまに割れてビックリ。
- ・キャラクターとの記念写真を撮りたい人が通路で停滞し混雑する場面がありました。
- ・場所によりますが、通路が狭い。物が机から落ちる（人がワーと寄ってきて手に取っているとき）

